

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.378

発行日 令和2年(2020年)2月15日

発行 武蔵野市議会

東京都武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1883(直)

FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 一般質問 2-3面
- 第六期長期計画審査特別委員会審査概要 4-7面
- 議案審議結果一覧 8面
- 政府等への意見書 8面
- 陳情審議結果 8面

第四回 市議会定例会

第四回定例会は、十二月三日から同月十八日まで開催されました。今議会では、十九人の議員による一般質問が行われました。議案では、武蔵野市第六期長期計画のうち市政運営の基本理念及び施策の大綱についてなど四十一件の市長提出議案、脱炭素社会を目指す対策の強化を求める意見書の議員提出議案が可決されました。

第六期長期計画のうち市政運営の基本理念及び施策の大綱についてを可決

本議案は、令和元年第三回定例会最終日の十月一日に設置された第六期長期計画審査特別委員会に付託されていきました。同委員会の構成は、すべての議員が参加できるように、議長を除く二十五名とし、十一月一日の正副委員長互選の後、十一月五日、十二日、十三日の三日間で審査を行いました。委員会最終日には討論終了後、本議案を全会一致で可決すべきものと決しました。十二月三日の本会議では、本議案について与座武第六期長期計画審査特別委員長が委員会での審査経過の報告

を行い、各会派の代表七名と会派に属さない議員一名の計八名が、いずれも賛成討論を行いました。討論終了後の採決の結果、本議案は全会一致で可決されました(四面、七面に第六期長期計画審査特別委員会審査概要を掲載)。

ふるさと応援基金条例を可決

十二月十日の総務委員会での審査を経て、同月十八日の本会議において、「武蔵野市ふるさと応援基金条例」が全会一致で可決されました。本市では、ふるさと納税制度を活用

し、本市の魅力発信、地域産業の振興、市政の充実と未来への財源確保という三つの基本コンセプトを掲げて、令和元年十月から武蔵野市ふるさと応援寄附による寄附金の受け付けを開始しました。寄附金の使いみちは二つの事業指定、六つの分野指定を含む九つの選択肢から指定することができま。

この寄附金を、寄附者の意向に沿って市政運営に活用し、市民サービスの向上および魅力あるまちづくりを進めるため、ふるさと応援基金として積み立て、各事業の財源として活用することとしています。本条例は、この基金を設置するため制定するものです。

「市立老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例」と「放課後等デイサービス施設条例」を可決

十二月十二日の厚生委員会での審査を経て、同月十八日の本会議において、「武蔵野市立老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例」と「武蔵野市放課後等デイサービス施設条例」がいずれも全会一致で可決されました。

市では令和元年五月に、学識経験者や地域の関係者等による「桜堤地区における福祉サービス再編検討委員会」を設置し、同年九月には委員会より報告書が提出されました。報告書には、新たな福祉のニーズに対応するため、桜堤ケアハウスデイサービスセンター機能の転換を図り、肢体不自由児や療育的ケア児を対象とした放課後等デイサービス事業の実施をはじめ、地域療育相談室ハピットのサテライトオフィスの設置や、地域共生社会の実現に向けた相談支援体制等のさらなる機能強化などが記載されました。二条例は、この提言を受けて提出に至ったものです。これらの条例の可決により、桜堤ケアハウスデイサービスセンターは令和二年三月三十一日をもって廃止され、その後、令和二年度中に放課後等デイサービス施設が設置される予定です。



Photo Gallery

フォトギャラリー

写真募集!

「晩秋の井の頭恩賜公園」

撮影：堀 義昭 (武蔵野市)

場所：井の頭恩賜公園 (2018.11.30)

秋晴れの澄み切った青空と井の頭池に映る色づいた木々の美しさに思わずシャッターを切りました。この静寂さと豊かな自然は吉祥寺の街なかとは思えぬ素晴らしい景色だと思いました。

1面写真募集要領 (次回の締め切り4月16日)

- 内 容：武蔵野市内(隣接する地域を含む。)で応募者自身が撮影した、未発表※のオリジナル作品(カラー)に限ります(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。※インターネット、SNS等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示(例えば、コミセンや学校での展示など)は未発表とする。
- 規 格：①紙焼きの場合 ・サイズ 2L判~A4
②デジタルデータの場合
・ファイル形式 JPEG形式
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ 2MB程度まで
- 審 査：議会広報委員会が審査します。
- 発 表：採用された作品は、5月15日発行の市議会だよりに掲載する予定です。ただし、紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 著作権：作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、次号の市議会だより発行までは、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限：4月16日(木曜日)当日消印有効
- 応募方法：撮影者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記宛先までご応募ください(作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合は、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります)。
- 宛 先：〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局市議会だより担当
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで
(上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください。)



一般質問

第4回定例会では12月3日、4日、5日、6日に19名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、2月中旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第4回定例会分は2月18日登録予定）、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。



令和元年11月23日、議会基本条例制定に関する市民意見交換会を実施し、14名の方にご参加いただきました。当日は23名の議員が出席しました。

武蔵野市の目指すべき未来像実現に向けた行財政改革を



深沢達也 議員

- 問 市政運営における行財政改革とは何か。
- 答 時代の変化に応じた市民ニーズを的確に捉え、それに応えるための新たな政策を積極的に生み出していくことであると考えている。
- 問 本市の目指すべき未来像について、まちの自治と文化、市民福祉の観点から伺う。
- 答 市民同士が多様性を認め、支え合うことで、地域での見守りや市民文化の醸成にもつながると考えており、誰もが安心して暮らし続けられる共生のまちを目指したい。
- 問 未来像実現に向けた行財政の在り方は。
- 答 健全財政を維持しつつ、より質の高い行政運営を行えるよう、経営力の強化と行財政改革を推進することが重要だと考える。

地域包括ケアの充実を



山本あつし 議員

- 問 インセンティブ交付金は自治体の保険者としての介護予防等の取り組みに対する評価に基づき支給されるが、本市の評価は。
- 答 都内で1位の評価だが、さらに高齢者の自立支援、重度化防止策に取り組みたい。
- 問 よりよい介護制度実現のため、国に対ししっかりと意見を述べてほしいが見解は。
- 答 制度改正や実務上の課題に対し、今後も市民の立場に立って意見を申し出たい。
- 問 看護小規模多機能型居宅介護施設が市内でも開設されたが、施設の現状と今後は。
- 答 医療的管理の必要な高齢者が利用し、みとりも対応している。今後も柔軟なサービスで在宅生活を支援できるよう整備する。

挑戦、夢ある武蔵野へ現状を打破し新たな境地を開拓せよ



道場ひでのり 議員

- 問 クリーンセンターの電力活用のためEVムーバス等の導入に挑戦すべきでは。
- 答 EV車の導入は、電力活用や環境負荷低減には有効だが、高額な上に技術革新が早いため、まずは導入事例を研究したい。
- 問 全小・中学校において、昼食後に歯磨きを行う取り組みに挑戦してはどうか。
- 答 一部の学校では給食後のうがいを勧めており、歯磨きを実施している生徒もいる。
- 問 吉祥寺本町の大規模民有地について、挑戦とも言うべき今後の方針はあるのか。
- 答 現時点で計画は未定であるが、建物保存に向けた署名活動等は把握しており、土地所有者の意向も踏まえ総合的に検討したい。

消費税率10%への引き上げによる売上額などへの影響は



山本ひとみ 議員

- 問 消費税率を引き上げる一方で法人税率や所得税最高税率は引き下げがあり、生活が困難な方ほど負担の重い不公平税制は問題で引き上げに、私は反対である。市内中小零細企業の売上額などへの影響を伺う。
- 答 現状では大きな影響はないと認識しているが、今後の動向は注視する必要がある。
- 問 消費税への見解を政府に表明しているか。
- 答 令和元年6月に消費税率引き上げの確実な実施を全国市長会で決議したが、引き上げ後は本市としての見解は表明していない。
- 問 消費税を財源とする幼保無償化によって、来年の保育園入園希望者数に影響はあるか。
- 答 前年度比25件減で、大きな変化はない。

土地開発公社への補助金支出の現状は



下田ひろき 議員

- 問 土地開発公社の金融機関からの借り入れに関し、①公社の設立以来、市が支出した利息補助額は②特定の銀行の金利が突出して高い理由と支払った利息の総額は。
- 答 ①平成30年度末までに総額約126億6,000万円を支出した②金利の高かった平成11年度から17年度に借り入れたため、支払い総額は約5億8,300万円である。
- 問 金利の高い時代の借り入れ分は、借り換え等により金利を低くするべきではないか。
- 答 市による買い戻しの時期が未定である土地に対して、借り換え資金を融資いただくのは困難であることを踏まえ、今後の対策を検討する必要があると考えている。

子育てに関する父・パートナーの役割への認識は



本多夏帆 議員

- 問 第五次子どもプラン中間のまとめには、産前産後や乳幼児の子育て期間に関し、父やパートナーに触れた記述が少ないのでは。
- 答 直接記述はなくても、子育ての第一義的責任は保護者にあるとの認識の下、子育てしやすいまちづくりの推進を掲げている。
- 問 イエナプラン*の小学校導入への見解は。
- 答 新学習指導要領の具体化に向けた一つの方法ではあるが、本市の学校の児童数では、そのまま取り入れることは困難と考える。
- 問 各種の策定委員会を、より多くの方に傍聴いただくための対応を伺う。
- 答 ICTを活用した傍聴も考えられるが、費用対効果等も見極め検討する必要がある。
*海外の教育モデルの一つ

境PPP、2回目の違法と考える状態の即刻是正指導を



木崎 剛 議員

- 問 にぎわい創出や1階店舗の営業に関し、QuO L aのテナント会議で市が報告を受ける中で、今まで問題点はなかったのか。
- 答 何かに違反しているという認識はなく、また会議の内容は公表するものではない。
- 問 屋上の機械室は倉庫として活用していると見受けられ、そうであれば違法状態が放置されており問題だと考えるが、見解は。
- 答 現状がどうなっているか、また問題があるかどうか、法的根拠に基づき調査したい。
- 問 現状は是正計画どおりでないが、市は是正計画への経過措置をどう見てきたのか。
- 答 計画に沿うよう指導しているが、新たに現状を調査し適切な指導を行いたい。

武蔵野市らしい教育と市民との合意形成の推進を



宮代一利 議員

- 問 吉祥寺のまちづくりにおいて、ステークホルダーとのコミュニケーションの機会を今後はどのように増やしていくのか。
- 答 NEXT-吉祥寺の改定作業の中でパブリックコメント等を行い、市民意見を伺う。
- 問 IT社会でも子どもが読書を好きになれるような読書活動をどう推進するのか。
- 答 今年度中に子どもの読書活動推進計画を策定し、中学校での不読率がやや高いという課題も意識しつつ取り組んでいきたい。
- 問 先生が笑顔で子どもたちに向かうことができる研修の在り方について伺う。
- 答 研修を通じ、子どもたちが意欲を持って学べるような環境づくりに取り組みたい。

東京オリ・パラに向けて駅前の安全対策強化を



堀内まさし 議員

- 問 全国首長九条の会への加入の経緯を伺う。
- 答 武蔵野市のこれまでの歴史や自身の考え等により、会の趣旨に賛同し、加入した。
- 問 吉祥寺は暴力団排除特別強化地域に指定されたが、駅前を含む今後の安全対策は。
- 答 パトロールや環境浄化作戦など官民合同の取り組みを毎月開催し、市民や来街者に対して注意喚起や啓発を実施していく。
- 問 客引き行為等の根絶に向けて、客引きしない優良店に注目した取り組みを行っている自治体もある。本市での検討はどうか。
- 答 横断幕掲出や啓発放送を行い、一定水準は抑えたと認識している。よりよいまちづくりの中で関係団体と協議をしていきたい。



令和元年11月1日、吉田利宏先生(元衆議院法制局参事)を講師にお迎えし、議会基本条例素案に関する研修会を行いました。当日は26名の議員全員が出席しました。

スピード感を持った 市民サービス向上の取り組みを



ひがしまり子 議員

- 問** 市内3つのコミセン体育室に早急に冷房を設置すべきだと考えるが、見解を伺う。
- 答** まず優先すべき学校体育館への冷房設置が今年度で完了するため、コミセン体育室への設置についても、検討したい。
- 問** 暑さ対策のため、市立小学校運動会の児童観覧席にテントを設置すべきでは。
- 答** 小学校に限らず中学校も含め、児童生徒の安全確保の観点から、テントの設置ができるようにしていきたいと考えている。
- 問** 学校での動物飼育は道徳教育の観点からも大切だと考えているが、見解を伺う。
- 答** 動物飼育の活動を通して、生命の尊さを学ぶことができる教育に取り組んでいく。

保育施設周辺のキッズゾーン設置と インクルーシブ防災を



藪原太郎 議員

- 問** 保育園等のお散歩コースにおける、安全点検の実施状況について伺う。
- 答** 対応すべき31か所のうち5か所は実施済みであり、残り26か所は今後対応する。
- 問** 厚生労働省が検討を促しているキッズゾーンの設置について早急に対応すべきでは。
- 答** お散歩時間の指定ができない等課題が多いため、関係機関と連携し対応を考えたい。
- 問** 学校避難所のバリアフリーへの見解は。
- 答** 段差等の課題は認識しており、学校設備の施設改修に合わせて推進していきたい。
- 問** 地震と風水害等の同時発災への備えは。
- 答** 水防訓練や総合防災訓練の充実とともに、複合災害を想定した訓練等を検討したい。

子どもの人権を守るために 児童虐待防止条例の改正を



大野あつ子 議員

- 問** 児童虐待防止条例において、虐待は子どもへの権利侵害であり、子どもの意見や利益を最優先にすること等を明記すべきでは。
- 答** 子どもの権利は関係法令に示されているため、条例改正は考えていないが、第五次子どもプランで基本理念として明示したい。
- 問** PTAの在り方検討委員会を設置し、負担軽減を促すきっかけを提案してはどうか。
- 答** PTAの自主性に配慮しつつ、PTA連絡協議会等の場で協議をしていきたい。
- 問** 精神障害者への居住支援に対する考えは。
- 答** グループホームの増設に努めるとともに、地域活動支援センターの職員が物件探しに同行するなどの支援を継続したい。

過而不改・牽強付会の市政を改めよ



深田貴美子 議員

- 問** EVパッカー車等導入等、環境省は学校・病院災害蓄電池・発電設備への導入補助を行う。本市での公共施設へのCEMS導入後のスマートシティの展開を伺う。
- 答** スマートシティの定義は環境の将来像であり、環境基本計画見直しの中で検討する。
- 問** 学校改築順位について策定委員も「分かりにくい、指標化を」の声があるが見解は。
- 答** 資料を用意し適切な議論につなげてきた。
- 問** 「NEXT-吉祥寺」策定プロジェクトのトップを副市長とするならば「都市再生推進本部・戦略室」を設置すべきでは。
- 答** 再生という言葉には違和感がある。なぜ都市再生本部としたいのか、逆に伺いたい。

激甚化する災害に備えよ



本間まさよ 議員

- 問** 台風19号による教訓と今後の対応は。
- 答** 台風接近前からの職員体制の構築や広報の在り方、災害発生前の自主避難対応、ペット対応を含めた避難施設運営などが課題である。今後、風水害対策等の見直しを行い、地域防災計画改定時に反映したい。
- 問** 地球温暖化防止に向け、気候非常事態宣言を出す運動が世界的に広がっている。国内でも気象変動へさまざまな対応を優先的に取り組む旨を盛り込んだ宣言を行った自治体もあるが、本市の見解と取り組みを伺う。
- 答** 一人一人が危機意識を持ち、思いはグローバルに、行動はローカルに、地域規模で考え行動していくことが重要と考えている。

医療費適正化への取り組みと 地域子ども館事業の充実を



浜田けい子 議員

- 問** 医療費の適正化に向け、①糖尿病性腎症の早期発見のため、微量アルブミン尿検査を行うことへの見解は②重複投薬を防ぐため、お薬手帳や残薬バッグを活用しては。
- 答** ①国民健康保険被保険者を対象に糖尿病重症化予防事業を実施しているが、今後検討したい②複数の医療機関から同系薬剤を処方された被保険者へ、お薬手帳の活用等を促す通知を送り、効果を検証中である。
- 問** 学童クラブでの障害のある児童の受け入れにあたり、支援員加配の体制を伺う。
- 答** 障害児2名に対し補助支援員1名以上を配置しており、今年度から障害児枠入会児童の多い場合は嘱託職員を加配している。

市民ニーズを捉え、 デジタル技術を生かした取り組みを



品川春美 議員

- 問** 電子化に係る市民ニーズのアンケート調査結果と、その施策への取り組みを伺う。
- 答** 災害対策の強化、手続きのオンライン化、ウェブアクセシビリティのニーズが高く、第六次総合情報化基本計画の中で施策として取り上げることを検討している。
- 問** 防災対策にAIを導入する可能性を伺う。
- 答** SNS情報分析システム等AIを活用した新システム開発を注視し、新技術や製品化が確立した後、導入について検討したい。
- 問** ユニバーサルデザインに配慮した公園遊具導入や公園整備計画・方針があるか伺う。
- 答** 都立公園と市立公園の役割は異なり、市立公園の規模等を考慮すると設置は難しい。

「副業」としての公務員の 採用に対する見解は



きくち太郎 議員

- 問** 人手不足が進む中、自治体が、企業等に在職したままの副業として人材を募る動きが広がっている。これに対し、転職のリスクを避けつつ地域で活躍したいビジネスマンの応募が殺到しているが、コンサルタントの採用と比べ、メリットと課題は何か。
- 答** ICT施策など民間企業が先行している分野では、民間のノウハウを生かし、より効率的・効果的に事業を進めることができる。一方、本業と掛け持ちする場合のルール明確化や個人情報流出のリスク管理など、課題の整理が必要である。
このほか、大雪対策、危険ドラッグに関する教育についての質問がありました。

傍聴のご案内

◎傍聴の受付方法

傍聴は、議案の審議等、市議会の活動を知るよい機会です。お気軽にお越しください。

本会議の傍聴受付場所	市役所東棟8階の傍聴者入口
委員会の傍聴受付場所	市役所南棟7階の議会事務局

*予約は不要ですが、定員に限りがありますので、大人数で傍聴される際には事前にご連絡ください。議会の日程については、ホームページ等でご確認いただくか(1面下部参照)、議会事務局議事係へお問い合わせください。TEL0422-60-1883

◎託児サービスおよび手話通訳者等の派遣のお知らせ

傍聴に伴う託児サービスおよび手話通訳者等の派遣を実施しています。詳細は、議会事務局庶務係へお問い合わせください。TEL0422-60-1882

バリアフリー遊具の設置と 適切な学校飼育教育の推進を



蔵野恵美子 議員

- 問** 東京都がインクルーシブな遊び場整備についての事業内容を発表したことを受け、バリアフリー遊具について①市立公園の遊具更新時に導入を検討しては②市内の都立公園への導入を要望すべきだが見解は。
- 答** ①遊具の安全性なども注視しつつ、公園ごとに地域や利用者の意見を聞き考えたい②具体的な整備予定や、遊具の基準・定義等について東京都と情報交換を行っていく。
- 問** 適切な飼育教育のため、獣医師との連携、治療費を含む予算の確保を求めると見解は。
- 答** 獣医師会との飼育指導の委託契約に動物の診療も含まれるが、委託範囲を超える治療は別に確保している予算で対応していく。

消費税増税の強行による 市民の暮らしへの影響は



橋本しげき 議員

- 問** 消費税率10%への増税強行による市民の暮らしへの影響について、市長の認識は。
- 答** 前回引き上げ時の状況から売り上げ減少や買い控え等の影響が出ていると推察する。
- 問** プレミアム付商品券は住民税非課税世帯では購入にあたり申請が必要だが、現時点での申請件数と対象者に占める割合を伺う。
- 答** 11月22日現在5,221件申請がある。申請率の見込みは70%だが25.8%と低く、非課税と示しての購入に抵抗があるためと考える。
- 問** 駐輪場の定期利用と一時利用のバランスを柔軟にし、両者の混在型を増やすのか。
- 答** 混在型は増やさず、空きの目立つ定期利用枠の縮小と一時利用枠の拡大を検討する。

審査特別委員会審査概要

第六期長期計画とは

武蔵野市では、昭和46年に第一期基本構想・長期計画が策定されて以来、現在まで定期的に改定が繰り返されながら、長期計画に基づく計画行政が推進されてきました。長期計画は、各分野に定める個別計画（健康福祉総合計画、子どもプラン、都市マスタープラン等）の上位に位置し、市の進むべき方向性を示す最も重要な計画であり、これらの計画に基づきながら計画的に市政運営が進められたことにより、現在の本市の姿が形づくられています。

本計画は令和2年度から11年度までの10年間にわたる市の方針を定めたもので、前期5年間を実行計画、後期5年間を展望計画としています。

また、これまでと同様に、市内在住の市民と副市長で構成する策定委員会を中心に、市民参加・議員参加・職員参加により策定されました。本計画の策定にあたっては、これまでに培ってきた「武蔵野市方式」による策定方法を継承しつつ、市民ファシリテーターの導入や中高生世代広場などの新たな手法を試みながら、多様で広範な市民参加を実践しています。



与座 武 第六期長期計画審査特別委員長

審査した委員

武蔵野市第六期長期計画のうち市政運営の基本理念及び施策の大綱についての審査に当たった委員は、議長を除く議員全員の25名です。なお、委員長は与座 武 議員、副委員長は深沢達也議員です。

武蔵野市第六期長期計画

「誰もが安心して暮らし続けられる 魅力と活力があふれるまち」
～未来に挑戦！ 武蔵野市～

第1章 武蔵野市の目指すべき姿と基本目標	6 武蔵野が誇る緑を基軸とした環境都市の構築
第2章 長期計画の位置付け等	7 時代の変化に応じた市民自治のさらなる発展
第3章 これまでの実績と評価	8 未来につなぐ公共施設等の再構築
第4章 市政を取り巻く状況	第8章 施策の体系
第5章 基本的な考え方	1 健康・福祉
第6章 本計画における基本課題等	2 子ども・教育
第7章 重点施策	3 平和・文化・市民生活
1 武蔵野市ならではの地域共生社会の推進	4 緑・環境
2 子どもと子育て家庭を切れ目なく支援する体制の確立	5 都市基盤
3 いつでも安全・安心を実感できるまちづくりの推進	6 行財政
4 豊かな文化の発展と活力をもたらす産業の振興	第9章 財政計画
5 三駅周辺の新たな魅力と価値の創造	

第1日

総括質疑及び 市政運営の基本理念

問 今後十年の市政運営においてどのような視点を重視し、本計画案の策定に携わってきたのかを伺う。
答 少子高齢社会に対応するための子育て分野への投資や、老朽化した公共施設等の建て替え等の課題解決に取り組むべきであると考えている。

問 まちにとって未来である子どもたちが将来活躍できるように小・中学校における教育に関し、見解は。
答 生きる力を育むことにより、多様な子どもたちがそれぞれの自信を高めていくことや、学ぶ意欲につながるような教育施策に取り組みたい。

問 行政側から市民への情報は内容が固まった段階で示されることが多く、市民と合意形成をするうえで好ましい状態でないと考えているが、今後のコンセンサス醸成の方針を伺う。
答 行政側の情報は莫大な個人情報が含まれることは共有できないが、市政への主体的な市民参加のため、しっかりと情報共有をしていきたい。

問 公と民間の役割の明確化が今後さらに重要な問題になると考えるが、公の役割について、見解を伺う。
答 富の再分配や適正な規制を行うこと、合意形成を行うことなどが公の一番の目的であると考えている。

問 多様性が今回の長期計画の重要なキーワードになっているが、多様性に関する行政としての見解を伺う。
答 すべての市民があらゆる場面でお互いの多様性を認め合い、理解し合いながら寛容な社会を作り、誰も排除しないことを目標としている。

問 保育園や障害者施設の必要性を強く訴えると同時に、それに対する

反対意見もあることを予測した運営が必要と考えるが、いかがか。
答 個別の要望はあったとしても、全体適正化の中で、市民に理解していただいたうえでこれまで施設整備を進めてこられたと認識している。

問 来街者に対する施策を市のサービスとして公共施設の整備と絡めて検討してほしいが、見解を伺う。
答 令和元年十月から開始したふるさと応援寄附事業の中でいわゆるコト消費として実際に本市を訪れ行動していただけるよう取り組んでいる。

問 目指すべきまちにするための手段としてICTの活用は有効であり、本市でもICTに専門性がある人材の導入が必要と考えるが、見解は。
答 行政目的達成の手段としてのICT化は精査する必要があるが、人材も含めた適切な限られた資源を有効に活用した市政運営を行いたい。

問 本計画策定にあたり武蔵野市方式を継承しつつ市民ファシリテーターの導入や中高生世代広場などの新たな手法を試みながら市民参加を実践しているところがあるが、見解を伺う。
答 新たに若い世代から意見を聴く場も設け、中高生世代の居場所が必要という意見を本計画に反映した。

問 本計画での長期財政シミュレーションは参考という位置づけだが、今後個別計画を策定する際にこれを根拠にすることはあるのか。
答 今後の取り扱いについては、参考という形で各計画へ反映していきたいと考えている。

問 教師の多忙化により学校現場が行き詰まっており、子どもたちが豊

かな教育を受けるためにも学校に対しさらなる支援が必要ではないか。
答 事柄の内容に応じて、学校と役割分担をしながら取り組みたい。

問 事務事業のAI化が進んだとしても、一人でも多くの職員が誇りを持って市政運営に携わることが重要であり、人材の確保・育成は積極的に行ってほしいが見解は。
答 どんなに優れた計画ができたとしてもそれを実行に移すのは職員であり、人材育成基本方針も本計画に沿って見直しを進めていきたい。

問 計画案中の公共施設に係る「市民」と「住民」の記載について、どのように使い分けているのか伺う。
答 「市民」は在住・在勤・在学、「住民」は在住と定義したうえで使い分けているが、公共施設によって利用対象が異なると認識している。

問 誰もが住み続けられるまちであるためには、人権への取り組みと平和が重要であるという視点で体制整備を行ってほしいが見解を伺う。
答 長期計画全体として、人権を守るといふ精神を貫き、平和についてもコミュニティや市民生活の発展の基礎と認識し、計画の柱としている。

問 東京都の都市開発諸制度の活用方針が改定されたが、本市の都市計画マスタープランに反映するのか。
答 諸制度の改革、流れなどを踏まえながら都市計画の方向性をどうすべきか議論していきたい。

問 本計画の重点施策に教育分野として格差社会や子どもの貧困に関する問題を取り上げるべきだが見解は。
答 家庭の文化的・社会的背景が教育の結果に影響する可能性もあり、さまざまな状況の子どもの教育機会の確保は大きな課題と認識している。

問 障害児の放課後対策に関する記



第六期長期計画審査風景

第六期長期計画

述が計画案中にないようだがサポート体制はどうなっているのか伺う。

行政として行うべきとの認識を持ち、新たな障害児向けサービス事業の実施について具体的に明記している。

行政と市民の役割分担について漠然としている部分があり、市民に不便が生じないよう整理する必要がありと考えるが見解を伺う。

第2日 施策の大綱

第1 健康・福祉

ギャンブル依存等さまざまな依存症への支援や予防教育の考えは。

市内三つの地域活動支援センターでは依存症をテーマに研修会等を開催している。依存症等で生活困難に陥った方へも、それぞれ状況に応じて同行支援等を行っている。

日本の社会構造の変化が、地域包括ケアや子育て、社会的排除等の問題に与える影響と対応を伺う。

例えば生活困窮については、年齢や性別、国籍等を含めて地域で支えていく地域共生社会という考えを進めていきたい。

認知症サポーターが活躍できる場の環境整備について見解を伺う。

認知症サポーター養成後にステップアップ講座として、施設等の見学や声かけ講座等を行っている。環境整備については次期高齢者計画等の中で議論をしていきたい。

計画案中の基本目標に「未来に挑戦」という言葉があるが、実際どのように進めていくのか伺う。

人口減少の中で少子化が大きな課題と認識しており、安心して子どもを産み育てられる社会を築いていくことに挑戦していきたい。

前回の計画に「武蔵野から新しい都市像を開こう」との目標があったが、新しい都市像は開かれたのか。

エネルギーの地産地消などにより、本市が持続可能な都市に近づいてきたという意味で新しい都市像が開かれたと評価している。

第1 健康・福祉 第2 子ども・教育 第3 平和・文化・市民生活

精神障害者への支援に関し、他の障害と比べて遅れているのではないかと指摘があるが、見解は。

この間、精神障害者対象のグループホームの開設等を行ってきたが、さまざまな障害特性に応じたサービスの状況があると考えている。

今後の医療や介護のニーズに対応した施設の充実とあるが、特別養護老人ホームの建設も含まれるのか。

大規模な施設の建設は困難なため、小規模多機能型のものをつくることは考えられるが、介護保険料負担とのバランスを考慮する必要がある。

人生百年時代に向け、働き続けられる環境を支える施策を充実するべきではないか。

シルバー人材センターを中心とした就労のほか、介護予防や主体的な社会参加など、総合的に健康・福祉分野全体で取り組んでいく。

成年後見制度の利用促進に向け、福祉公社が法人後見を多く担っているという本市の独自性を周知しては。

本市では福祉公社等の法人後見が三割以上を占めている。法人後見の特徴を生かしながら安心感を醸成し、制度理解を促進したい。

生きる力についてどう捉え、どのように指導する考えか伺う。

文部科学省が定める学習指導要領に掲げている。市としては、子どもの多様な自信や生涯学習への意欲を育み、学校や地域等の協働体制などを総合的に生かして取り組みたい。

相手を理解し尊重しながら、自分の思いを伝えるアサーションという考え方について、見解を伺う。

学校教育においては、納得解や最適解を求めていく中で、他者との協働や調和を図っていくための、スキル形成の一つの方策と考える。

今後、どのような形でICT教育を効果的に進めていくのか伺う。

例えばタブレットPCの使用には、瞬時に子どもたちの理解状況が把握できる、学習記録が残る、自宅で反復学習が可能などのメリットがあり、活用方法について研究したい。

教員の働き方改革や教育改革を進めるうえで、根強く残る学校教育への考え方をどのように変えるのか。

小学校では専科以外の教科や生活指導、中学校では部活動が先生の負担と考える。担当時数の減や部活動指導員の充実を目標に進めたい。

児童虐待の未然防止に向け積極的に取り組むべきと考えるが見解は。

児童虐待は起こりうるが、虐待による死は絶対になくしたいと考えている。今後、虐待する側の大人へのケアを含め、子ども・子育て家庭を包括的に支援する体制を整えたい。

子どもの医療費助成拡充は、どのような観点から実施しようとしているのか。

児童福祉法で定める十八歳未満のすべての子どもが健やかに成長するうえで、病気等のリスクの負担を軽減したいと考えている。

学校の複合化・多機能化と、改築の関係性を伺う。

個別の改築に関しては、地域の事情や学校の物理的な状況、児童生徒数の推移を長期間にわたり見極める必要があり、標準的な仕様を基にさまざまな可能性も含めて考えたい。

地域子ども館の夏季休業期間中の高学年用開放教室の確保を検討することだが、具体的な背景は。

児童クラブでの四年生以上の夏休みの利用希望があるが、すぐに対応するのが困難なため、地域子ども館で受け入れが可能か検討したい。

地域資源が限られる中、子どもたちをはじめとする多世代型の居場所づくりをどのように展開するのか。

例えばテニミリオンハウスでも、高齢者と子育て世代それぞれの居場所となっているものもあり、今ある資源を工夫して有効に活用したい。

児童相談所が区に移管される中で、多摩地域の児童相談所の体制強化は重要な施策だと考えるが見解は。

都による児童相談所の管轄の再編内容は正式には把握していないが、体制の強化が行われるよう、情報収集に努め要望を行っていきたい。

コンテンツの産業振興を進めるとともに、業界を支えるクリエイター

にも目を向けてほしいが、見解は。

コンテンツ事業を含め、クリエイティブ産業という位置づけを初めて行っており、交流事業等との相乗効果を図りながら取り組みたい。

SDGsのターゲットとしての平和に関し、グローバルな視点からの書き込みが必要ではないか。

平和の意義の発信や戦争体験の記憶の伝承と合わせ、国際交流等を通じた多文化共生も含めた平和への意識の向上を図る事業を検討したい。

今後のコミュニティ施策について、具体的にどのように進めるのか。

コミュニティ評価委員会では、地域の成功事例や工夫例を共有することで地域づくりに還元できるとの議論があり、その中で行政として行うべき点があれば対応したい。

自主防災組織の活動支援やマンション管理組合等での設立の働きかけなど、市民どうしが協力し合う体制整備の具体的な取り組みを伺う。

マンションの居住者が多いため、住宅対策課と協働しつつ、マンションでの自主防災組織設立を進めたい。

多様な性への理解を進めるための具体策を伺う。

十月に市職員を対象に、LGBTや多様な性理解のための研修を実施したうえで、「性の多様性を理解し尊重するまち武蔵野市宣言(レインボー宣言)」を行っている。

自治体がパートナーシップ制度を設けると同性婚を認めることになり、日本国憲法に違反するのでは。

パートナーシップ制度は、法律上の婚姻制度を使えない関係を確認する制度であり、婚姻ではないため、何ら憲法に反しないと認識している。

第3日

施策の大綱

締めくくり総括

- 第4 緑・環境
- 第5 都市基盤
- 第6 行財政

大切な財産だと考えるが、今後公園をどう活用していく方針なのか。

答 防災やコミュニティなど、さまざまな目的で多様な方が利用することでその機能が発揮できると考え、地域と連携し柔軟に活用していく。

問 今後改定する下水道総合計画では、浸水対策について現行での計画時期より前倒しして実施できないか。

答 雨水の放流先である河川の整備等が進んでおらず難しいが、雨水放流幹線を貯留機能と位置づけた検討は、可能な限り前倒しで進めたい。

問 まちづくりの観点から公会堂の在り方は劇的に転換すべきではないと考えるが、見解を伺う。

答 これまでの経緯は踏まえるべきと考えるが、土地のポテンシャルを生かし切れていないため、周辺の動きを視野に入れながら対応したい。

問 吉祥寺のパークエリアが抱える地域課題とはどのようなことか。

答 パークロードにバスが入ってくるという交通課題や、井の頭公園に向かうアクセス路の整備や案内の問題、駅前老朽化した建物の更新が進んでいないことなどが挙げられる。

問 吉祥寺駅南口の整備についてはビジョンを示し、スケジュール感を保持して進めるべきと考えるが見解は。

答 平成十二年に都市計画決定していることで方針は示しており、NEXT-吉祥寺でスケジュールの土台づくりをしたうえで議論を進めたい。

問 吉祥寺グランドデザインやNEXT-吉祥寺の改定作業に関し、今後の全体的なスケジュールを伺う。

答 令和二年一月までのパブリックコメントを経て、三月中には改定版を公表する。令和二年度からはNEXT-吉祥寺の改定作業に着手する。

徴収体制を統合しての窓口の一元化とは、どのような取り組みなのか。

答 組織を統合している他自治体にならい徴収体制や窓口を一元化し、市民への説明や連絡を一本化することでサービス向上を図りたい。

問 一般技術職の採用や育成が課題である中、今後の方針について伺う。

答 国内外の自治体や民間企業等への派遣、専門的な研修の受講、計画策定等における有識者の知見を参考にすることでスキルアップ等を図りたいと考えている。

問 技術の進歩が速く市職員の育成が間に合わない専門分野においては、外部の専門職と連携していくのか。

答 ICT技術など日進月歩の分野では、非常勤職員制度を活用し、民間企業などから専門的なアドバイスを受けることを今後検討していく。

問 財政援助出資団体の理事長等のトップリーダーには、現場を理解している当該団体のパワー職員が就任するのが望ましいのではないかと。

答 市の施策を理解している派遣職員とパワー職員とのどちらが望ましいかは、今後議論が必要である。

問 不登校の児童生徒の世帯に対し、義務教育段階の格差是正に向け経済的支援が必要だと考えるが、見解は。

答 教育機会確保法の施行から三年が経過し、国でも施行後の課題を踏まえ、財政的な部分等を検討することであり、推移を見守りたい。

問 国民健康保険財政健全化計画では子育て世帯への負担軽減策を検討するとあるが、長期計画では「多子世帯」となっている。対象を限定すべきではないと考えるが、いかがか。

答 子育て世帯への軽減策の一例で、多子世帯と記載したものである。

問 国民健康保険財政健全化計画では子育て世帯への負担軽減策を検討するとあるが、長期計画では「多子世帯」となっている。対象を限定すべきではないと考えるが、いかがか。

答 子育て世帯への軽減策の一例で、多子世帯と記載したものである。

問 小学校の自校式調理施設に関し、災害時には炊き出しに活用するのか。

答 避難所として、学校で炊き出しを行うことにはなるが、各校の条件が異なり、体制も含めさまざまな状況が想定されるため、学校施設整備基本方針の中で確定したい。

問 具体的な施策を執行するにあたり、痛みを感じている住民もいるが、合意形成に向け、どのように痛みに寄り添うのか。

答 必要に応じて対価を支払いつつ、ご理解をいただく努力を続け、公共の利益に資するよう事業を進めたい。

問 今後、自治や公共性を具体的にどのように進めていくのか。

答 市だけでなく、市民や議員の意見も含め、自治の力が試されている。そこを維持しながら、今後を見据え、市にとって必要だと思うことは、自治の力で実現していきたい。

問 ICT活用について、積極的に挑戦していただきたいが、見解は。

答 技術革新の進歩や、費用対効果等の点を総合的に勘案する必要があるが、優先順位を考えつつ、効率的な行政を進めるために必要なものは取り組んでいきたい。

問 不登校の児童生徒の世帯に対し、義務教育段階の格差是正に向け経済的支援が必要だと考えるが、見解は。

答 教育機会確保法の施行から三年が経過し、国でも施行後の課題を踏まえ、財政的な部分等を検討することであり、推移を見守りたい。

問 総合的・計画的な住宅施策の推進に関し、「市民」という言葉が使われているが、住宅施策であれば「住民」としたほうがよいのではないかと。

答 住んでいる方が中心にはなるが、在勤・在学の方が何かしらの形で住まいになることも考慮している。

問 エコプラザを中心とした環境啓発の推進において、SDGsの達成への貢献を政策目標としていくのか。

答 啓発によって環境に配慮した行動への変容を促すのが施設目標で、SDGsの目標にも合致する。今後連携会議で評価指標等を検討する。

問 環境フェスタで実施されたフードドライブの考え方について伺う。

答 食品ロス、ごみ削減の観点から取り組んだ。この活動は、草の根的に広がるのが望ましい姿と考えており、他団体等にも取り組みを呼びかけていきたい。

問 受動喫煙対策として、どのように喫煙所の設置を進めるのか。

答 民間の土地を借りて移動型の喫煙所を設置したいと考えている。また市内にある公園は市民にとって

大切な財産だと考えるが、今後公園をどう活用していく方針なのか。

答 防災やコミュニティなど、さまざまな目的で多様な方が利用することでその機能が発揮できると考え、地域と連携し柔軟に活用していく。

問 今後改定する下水道総合計画では、浸水対策について現行での計画時期より前倒しして実施できないか。

答 雨水の放流先である河川の整備等が進んでおらず難しいが、雨水放流幹線を貯留機能と位置づけた検討は、可能な限り前倒しで進めたい。

問 まちづくりの観点から公会堂の在り方は劇的に転換すべきではないと考えるが、見解を伺う。

答 これまでの経緯は踏まえるべきと考えるが、土地のポテンシャルを生かし切れていないため、周辺の動きを視野に入れながら対応したい。

問 吉祥寺のパークエリアが抱える地域課題とはどのようなことか。

答 パークロードにバスが入ってくるという交通課題や、井の頭公園に向かうアクセス路の整備や案内の問題、駅前老朽化した建物の更新が進んでいないことなどが挙げられる。

問 吉祥寺駅南口の整備についてはビジョンを示し、スケジュール感を保持して進めるべきと考えるが見解は。

答 平成十二年に都市計画決定していることで方針は示しており、NEXT-吉祥寺でスケジュールの土台づくりをしたうえで議論を進めたい。

問 吉祥寺グランドデザインやNEXT-吉祥寺の改定作業に関し、今後の全体的なスケジュールを伺う。

答 令和二年一月までのパブリックコメントを経て、三月中には改定版を公表する。令和二年度からはNEXT-吉祥寺の改定作業に着手する。

問 市税と国民健康保険税の収納・徴収体制を統合しての窓口の一元化とは、どのような取り組みなのか。

答 組織を統合している他自治体にならい徴収体制や窓口を一元化し、市民への説明や連絡を一本化することでサービス向上を図りたい。

問 一般技術職の採用や育成が課題である中、今後の方針について伺う。

答 国内外の自治体や民間企業等への派遣、専門的な研修の受講、計画策定等における有識者の知見を参考にすることでスキルアップ等を図りたいと考えている。

第六期長期計画に対する 各党派等の討論

ワクワクはたらく

多様な意見に耳を傾け、 「痛み」に寄り添った対応を



本多夏帆 議員

賛成

ワクワクはたらくを代表し、本議案に賛成する。「チャレンジ」とのキーワードからも、前に大きく進んでいく計画と認識している。事業を行う中で重要なのは対話であり、多様な意見に耳を傾けることである。特に「痛み」にきちんと寄り添い、相手の立場に立った対応をお願いしたい。今回特に力

を入れた人材育成に関しても、相手をおもむかせる想像力や表現力の向上にしっかりと取り組むよう求める。スピード感を持って取り組む難しさはあるが、止まらずにスピードを出すためにも、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを大切にいただこう要望する。

立憲民主ネット

新たな社会情勢の変化と課題に向き合い、 積極的に挑戦する計画に期待する



蔵野恵美子 議員

賛成

目指すべき姿に「未来に挑戦」と記載を加え、積極的な施策展開を進めようとする姿勢を高く評価する。全体的には、前長期計画への評価として充足度や実現度の基準がないこと、計画行政の整理の必要性等を課題として指摘するが、中高生を含めた多様な市民参加の機会を設け、SDGsの指標を加

えたことを評価したい。各分野では児童虐待の対応強化、子どもの医療費助成拡充、小学校改築時の自校式給食調理場の配置、クリエイティブ産業や愛護動物の位置づけ等明記されたことを評価する。地域福祉人材の確保、吉祥寺南口交通広場の実現、専門職員の育成等、新たな挑戦に期待し、賛成する。

市議会公明党

「未来に挑戦」する市長のリーダーシップの下 長期計画に示す施策の堅実な推進を



浜田けい子 議員

賛成

市政の課題に対応していくためには、まず職員の力量や資質を磨くことが求められ、さらに市民力も活用していくべきである。また、災害対策は、各分野の念頭に置いた施策を進めることが大切である。分野別では、健康・福祉分野での、多様なニーズに対応した相談支援体制の充実を要望する。子ども

・教育分野では、保育人材の確保と保育の質の向上、児童虐待防止への丁寧な対応を求める。緑・環境分野での食品ロス・プラごみ問題への啓発、都市基盤分野での交通環境整備と無電柱化の迅速な推進にも期待したい。「未来に挑戦」する市長のリーダーシップと職員による市政運営に期待し賛成する。

日本共産党武蔵野市議団

住みたいまちから住んでよかったと思えるまち、 さらには住み続けられるまちづくりへ



橋本しげき 議員

賛成

地方自治体は住民福祉を増進する役割を担い、住民の生活向上のために住民とともに歩む構えが必要だと考える。長期計画案において、18歳までの子どもの医療費無償化、学童クラブの4年生以上の受け入れ、国民健康保険税の子育て世帯の負担軽減等市民の要望が盛り込まれていること、分野を「文化

・市民生活」から「平和・文化・市民生活」に改め、「平和」を大きく位置づけたことも評価したい。しかし、市民負担増や民間委託等の拡大を示唆する記述が含まれ、心配な点がある。武蔵野市の財政力を適切に生かし、市民生活を支える施策をさらに進めていくことを求め、賛成する。

改革武蔵野・都民ファースト

データ隠蔽・改ざんの牽強付会の市政を改め、 災害に強い都市再生への財政計画を明確にせよ



深田貴美子 議員

賛成

人口推計における本市のデータは、国や都のデータと乖離がある。また、平成29年策定の「武蔵野市公共施設等総合管理計画」の「類型別計画・個別計画」策定の遅れにより、市内公共施設全体の方向性、コミュニティの在り方、改修・改築・再編・公民連携、駅周辺における公共施設の利活用等をふ

かんする財政計画策定に至らなかった。特に、学校改築においては延べ床面積の上限が明確になっていないことから東京都財務局単価での計算に至らず、財政計画に反映できなかったことは猛省を求めたい。ICT活用については長期的かつ広い視野での検討を要望する。

自治と共生

お金に換えることのできない 持続可能な「公共の役割」の再構築を目指すべき



内山さとこ 議員

賛成

「平和・文化・市民生活」と分野名に平和を冠したことや、子どもが基本的人権を持つ存在、権利の主体であると明記した点を評価する。少子高齢社会への挑戦に際しては、ソーシャル・インクルージョンの視点を貫くべきである。地球温暖化防止に向けて、CO₂の削減や脱プラスチックの方針を掲げ、

政策誘導を図られたい。また、市民自治の大前提である情報共有を掲げた計画として、公文書管理条例の制定など公文書に関する取り組みが一層求められる。施策の遂行にあたっては、人間の心が動くことを大切にし、現場で市民と向き合う職員が楽しく仕事ができるよう期待して賛成する。

会派に属さない議員

多様性を認め合い支え合う社会を目指して、 健全財政を市民のために生かす市政を



山本ひとみ 議員

賛成

長期計画の中では財政見通しが最重要であり、今後も健全財政を市民のために生かすことを重視した施策に取り組んでほしい。市の目指すべき姿と基本目標に、「多様性を認め合う」社会と記載したことは大変評価する。個別施策では、18歳までの子どもの医療費無償化やパートナーシップ制度の導入、

多子世帯への国民健康保険税の負担軽減策の検討などを評価する。一方、不登校の児童生徒のいる世帯への経済的支援、ヘイト行為予防を市民の中で考える等の課題がある。また水道事業は、都との一元化後都が民営化しないとは断定できず、安易に進めてはならない。旧赤星邸の関係者や市との対話を望む。

自由民主・市民クラブ

安心なまちづくりは評価、 市民への情報提供と行政の内部統制は特に課題解決を



木崎剛 議員

賛成

自由民主・市民クラブを代表し、本議案に賛成する。安心して暮らし続けられるまちにつなげるための居場所についての検討や国際交流のさらなる深化への展望、受動喫煙への具体的な対策、三駅周辺のにぎわい創出の取り組み等は評価する一方、18歳までの医療費無料化やパートナーシップ制度、財

政シミュレーション、内部統制にはそれぞれ課題があると考えている。計画案中の「市民」と「住民」の使い分けは統一感がなく、語句の使用にあたってはしっかりと精査をしてほしい。また、広報広聴については、情報・サービスを必要としている市民に確実に届けられるような仕組みづくりを求める。

自治基本条例審査特別委員会が開催されました

令和元年12月6日の本会議で、議案第73号 武蔵野市自治基本条例が上程されました。その後、8名の委員で構成される自治基本条例審査特別委員会が設置され、本議案が付託され、令和2年1月29日の同委員会で審査されました。

議会基本条例制定に関する市民意見交換会を実施

議会基本条例制定にあたり、令和元年11月23日に議会基本条例制定に関する市民意見交換会を開催しました。また、議会基本条例素案について、同月15日から29日までの期間で市民の皆様からご意見を募集しました。

市民意見交換会の報告書および条例素案に対するご意見への回答は、市議会ホームページに掲載しましたので、ご覧ください。

近年「経験したことのない」規模の自然災害が毎年のように発生し、気候変動、異常気象は現実のものとして多くの国民に実感されています。これら気候変動の原因は、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）において一九八八年から研究されてきました。その第五次評価報告書の中に、「今世紀末の世界平均気温変化はRCPシナリオによれば〇・三〜四・八度の範囲、平均海面水位の上昇は〇・二六〜〇・八二メートルの範囲となる可能

性が高い」と明記されており、二十世紀後半以降の便利な生活を享受してきた私たちに、子孫の世代に対して負うべき大きな責任があることは明らかとなっています。

脱炭素社会を目指す対策の強化を求める意見書

政府等への意見書

地球温暖化対策推進法では、「国と地方公共団体がそれぞれの役割を果たしつつ連携して、温暖化対策に取り組むこと」が義務づけられています。武蔵野市も市民とともに目標達成に努めています。広域的な電力由来のCO₂排出係数が大きければ、排出量削減目標は達成できません。持続可能な環境を次世代に引き継ぐため、脱炭素対

策強化は不可欠です。よって、武蔵野市議会は、貴職に対し、深刻化する気候変動に対する責任ある行動の一環として、下記事項の実現を求めます。

一 温暖化対策に意欲的に取り組む諸国に倣い、二酸化炭素排出係数が最も大きい石炭火力発電所を、段階的に減らすこと。

二 脱炭素社会を目指す国際諸機関への協力、加盟などに尽力すること。

三 石炭火力発電にかかわる事業者や労働者が、急激な事業停止や解雇に陥らないよう、円滑で段階的な事業転換を促すための「公正な移行」措置を議論し、国民負担に配慮した検討を行うこと。

（内閣総理・経済産業・環境大臣あて）

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。

※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室（市役所7階）の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主・市民クラブ	☎60-1884
道場 ひでのり	堀内 まさし
ひがし まり子	木崎 剛
きくち 太郎	土屋 美恵子
与座 武	小美濃 安弘

自治と共生	☎60-1890
内山 さとこ	山本 あつし

ワクワクはたらく	☎60-1885
宮代 一利	本多 夏帆

立憲民主ネット	☎60-1889
藪原 太郎	蔵野 恵美子
西園寺 みきこ	川名 ゆうじ
深沢 達也	

改革武蔵野・都民ファースト	☎60-1944
深田 貴美子	品川 春美

日本共産党武蔵野市議団	☎60-1888
橋本 しげき	本間 まさよ

市議会公明党	☎60-1887
大野 あつ子	浜田 けい子
落合 勝利	

会派に属さない議員	☎60-1909
山本 ひとみ	下田 ひろき

議案審議結果（議決）一覧

第4回定例会

【市長提出議案(42件)】

- 武蔵野市第六期長期計画のうち市政運営の基本理念及び施策の大綱について 可決(全会一致)
 - ※第3回定例会で継続審査となっていたが、今定例会で可決されました。
- 武蔵野市自治基本条例 継続
- 武蔵野市ふるさと応援基金条例 可決(全会一致)
 - ※ふるさと応援寄附による寄附金を積み立てるための基金を設置するもの。
- 武蔵野市立老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
 - ※桜堤ケアハウスデイサービスセンターを廃止するため、項の削除をするもの。
- 武蔵野市放課後等デイサービス施設条例 可決(全会一致)
 - ※桜堤ケアハウスデイサービスセンター廃止後に放課後等デイサービス、ハビットサテライトオフィスの設置をするため、制定するもの。
- 武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例 可決(賛成多数)
 - ※国民健康保険税の医療分、後期高齢者支援金分および介護納付金における均等割、所得割の改正、法定限度額の改正、および18歳未満である被保険者が2人以上いる世帯における子どもに係る均等割額の減免制度の創設をするため改正するもの。
- 武蔵野市廃棄物の抑制・再利用と適正処理及びまちの美化に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
 - ※一般廃棄物処理業者の許可の取り消しの要件から、成年被後見人または被保佐人となったことを除くため、字句の改正をするもの。
- 武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
 - ※下水道事業の指定工事業者の指定および責任技術者の登録の除外要件から、成年被後見人または被保佐人となったことを除くため、字句の追加等所要の改正をするもの。
- 武蔵野市立農業ふれあい公園の管理に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
 - ※令和2年4月に吉祥寺東町農業公園を開設することに伴い、字句の追加等所要の改正をするもの。
- 武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立武蔵野公会堂の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立武蔵野市民文化会館の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立武蔵野芸術劇場の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立武蔵野スイングホールの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立吉祥寺美術館の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立松露庵の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立吉祥寺シアターの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立かたらいの道市民スペースの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- コミュニティセンターの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市軽費老人ホームの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立高齢者総合センターの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立北町高齢者センターの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立みどりのこども館の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市障害者福祉センターの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立0123吉祥寺及び武蔵野市立0123はらっぱの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立自然の村の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスの指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立体育施設の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 武蔵野市立吉祥寺図書館の指定管理者の指定について 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市一般会計補正予算(第3回) 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
- 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 可決(賛成多数)
- 令和元年12月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
- 令和元年12月における武蔵野市特別職の職員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
- 令和元年12月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
- 新学校給食桜堤調理場(仮称)新築工事請負契約 可決(全会一致)
 - ※施設の高経年化および児童生徒数の増加に対応し、市立小中学校に給食を安定的に供給するため、新学校給食桜堤調理場(仮称)を隣地に新築するもの。契約金額は12億9,800万円。
- 新学校給食桜堤調理場(仮称)新築に伴う電気設備工事請負契約 可決(全会一致)
 - ※契約金額は3億4,100万円。
- 新学校給食桜堤調理場(仮称)新築に伴う機械設備工事請負契約 可決(全会一致)
 - ※契約金額は5億8,960万円。
- 新学校給食桜堤調理場(仮称)新築に伴う厨房設備工事請負契約 可決(全会一致)
 - ※契約金額は3億4,650万円。
- 令和元年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
- 令和元年度武蔵野市一般会計補正予算(第4回) 可決(全会一致)

【議員提出議案(1件)】

- 脱炭素社会を目指す対策の強化を求める意見書 可決(全会一致)
- 各議員の議案等に対する賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

陳情 審議結果

- 採択**
 - 第六期長期計画に吉祥寺パークエリアの課題解決に向けて面的なまちづくり将来構想を検討する旨を盛り込むことに関する陳情(※)
 - 意見付き採択**
 - 保育園入園要綱の障害児の扱いに関する陳情(※)
 - 不採択**
 - (意見)今後十分に調査し、趣旨に沿うよう努力されたい。
 - 武蔵野市第六期長期計画都市整備における吉祥寺駅周辺再整備に関する陳情(※)
 - 継続**
 - 女子大通り拡幅計画に関する陳情
- (※)は継続審査となっていたもの。

市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。
TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555
メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/

議会事務局